

第3期九州知的財産推進計画の基本方針と施策のイメージ

1. 地域におけるイノベーション促進のための知財の活用強化

① 研究開発を活用したイノベーションの創出支援

- 研究開発成果の事業化支援(ハイブリッド型支援)
- 知財戦略策定のためのコンサルティング事業
- 産学連携を通じたイノベーションの創出

② 新産業・次世代産業における施策の推進

- 産業クラスター(環境、半導体、バイオ)参画企業との連携
- 次世代太陽光発電等新規・発展的事業分野に対する重点的な支援

③ イノベーション促進のための環境整備

- 知財を活用した資金調達支援(金融機関向け知財セミナー等)
- 企業に対する知財戦略の策定支援
- 実務に即した審査基準の説明会
- 表彰制度を活用した戦略的広報

2. アジアをにらんだ国際展開の促進

① 企業の海外展開支援

- 「環黄海経済・技術交流会議」等の活用
- 模倣品・海賊版対策の浸透
- JETROとの連携による各国の知財環境と支援施策の情報提供

② アジア事情に通じた人材の確保・活用促進

- 国内専門家の育成、国外との交流
- 留学生等海外高度人材の活用

3. 地域の特色を活かした知財戦略強化

① 地域資源を活かした知財戦略強化

- 地域資源、農商工連携、新連携における知財支援
- 地域ブランド(地域団体商標)の戦略的活用支援
- 伝統的工芸品産業に対する知財の活用促進

② ソフトパワー産業における知財の戦略的活用促進

- トータルブランド戦略におけるデザイン活用の促進
- デジタルコンテンツ産業の知財戦略強化
- クリエーターへの意識啓発による知財制度普及

4. 知財を担う人材育成の一層の強化

① 総合プロデュースのできる人材の育成

- 知財戦略、事業化戦略、研究開発戦略の三位一体を担う専門家の育成

② 知財教育による人材育成の強化

- 幼少期からの各段階に応じた教育支援
- 知財推進協力校等を活用した教育機関への浸透

③ 支援人材の有効活用

- 知財人材データベースの構築
- 中小企業への人材の有効活用のための効果的な広報の実施

5. 安定的、継続的な知財活用のための基盤整備

① 中小企業等におけるリスクマネジメントの強化

- 職務発明に関する社内規程整備、ノウハウ・営業秘密管理の徹底
- 下請け事業者を対象としたリスクマネジメントの徹底
- 契約、権利侵害への対応についてのリスク低減支援

② 関係機関の連携による支援窓口情報の周知

- 自治体による知財戦略の推進
- 九州知的財産戦略センターを活用した支援窓口のワンストップ化
- 関係機関と連携した効果的な広報の発信